

令和2年度鳥獣対策優良活動表彰

農林水産大臣賞（被害防止部門（個人））

北村 富生

獣害対策取組事例の報告

はじめに

(里山が崩壊し始めた)

昭和35年（1960年）を境にエネルギーが石油に変わり、燃料であった薪の需要は消滅し、山林の柴かきもなくなり、人は山に入らなくなりました。

そのため、サルやイノシシと人間の間にあった緩衝地帯が山側の雑木林から農耕地帯に移り、農耕地に出没するようになり、農作物の被害が年々増加するようになってきたのです。

A photograph showing a deer lying on its side in a narrow concrete drainage ditch. The ditch is filled with water, and the deer's reflection is visible. On the right side of the ditch, three people (two adults and one child) are standing and looking at the deer. The background shows a road with a bicycle and some construction materials.

鹿も山奥から流れる砂防河川を伝い町内まで降りてきました。

大きな角の鹿です。



箱罾21年、イノシシ捕獲檻田畑設置管理は、滋賀県猟友会長被害郡の皆さんはじめ、願ひ、長浜市の「鳥獣害支援事業補助金」で箱罾（イノシシ捕獲檻）を作製し設置しました。



ロケット花火発射実演（22人参加）

撃ち方ヨーイ！・・・構えて！・・・
放て！

獣害対策

防護柵設置事業

H23/3～H30/11

鳥羽上北町自治会 防護柵設置委員会

長浜市**鳥羽上北町**は、市南東部、長浜市と米原市にまたがる横山山麓中央部に位置する農村集落です。

横山山麓地域でのワイヤーメッシュでの防護柵設置工事は、**当集落が初めて**で、技術指導もなく、**試行錯誤を重ねての作業**でした。

- 次に示す航空写真の赤線は、平成23年から28年の6年間にわたり3,355mの獣害防護柵を設置したラインです。
- 黄色の点線は、県道224号線（大野木・志賀谷・長浜線）の管理地で設置が困難なため、ワイヤーメッシュ敷き詰めているラインです。
- 黄色の線は隣町が設置された防護柵のラインです。
- 集落中央の赤丸は、自治会会議所です。
- 防護柵設置作業は**9か所の工区**に分けて設置しました。

H23~H28 防護柵設置 延長3,355m



480m 本庄込田工区(24年度)



85m 本庄込田工区(25年度)



520m 番谷・水打工区（平成26年度）



200m八幡神社工区（平成28年度）



氏神様の八幡神社境内にイノシシが侵入したため、設置しました。

6年間取り組んできた、延長3,355mの平成の長城（獣害防護柵）が完成しました。
これで終わりではありません。保安全管理をしっかり実施しないと防護柵はイノシシ、鹿の
進入、風水害などの自然災害、雑草の繁茂、倒木などで破損します。
これからも、獣と自然災害の戦いが続きます。

防護柵設置の準備から完成まで

「むら」あげての取り組み

8年間取り組んできた防護柵設置の準備から完成までの経過や設置作業とメンテナンス作業を報告します。

この報告は、

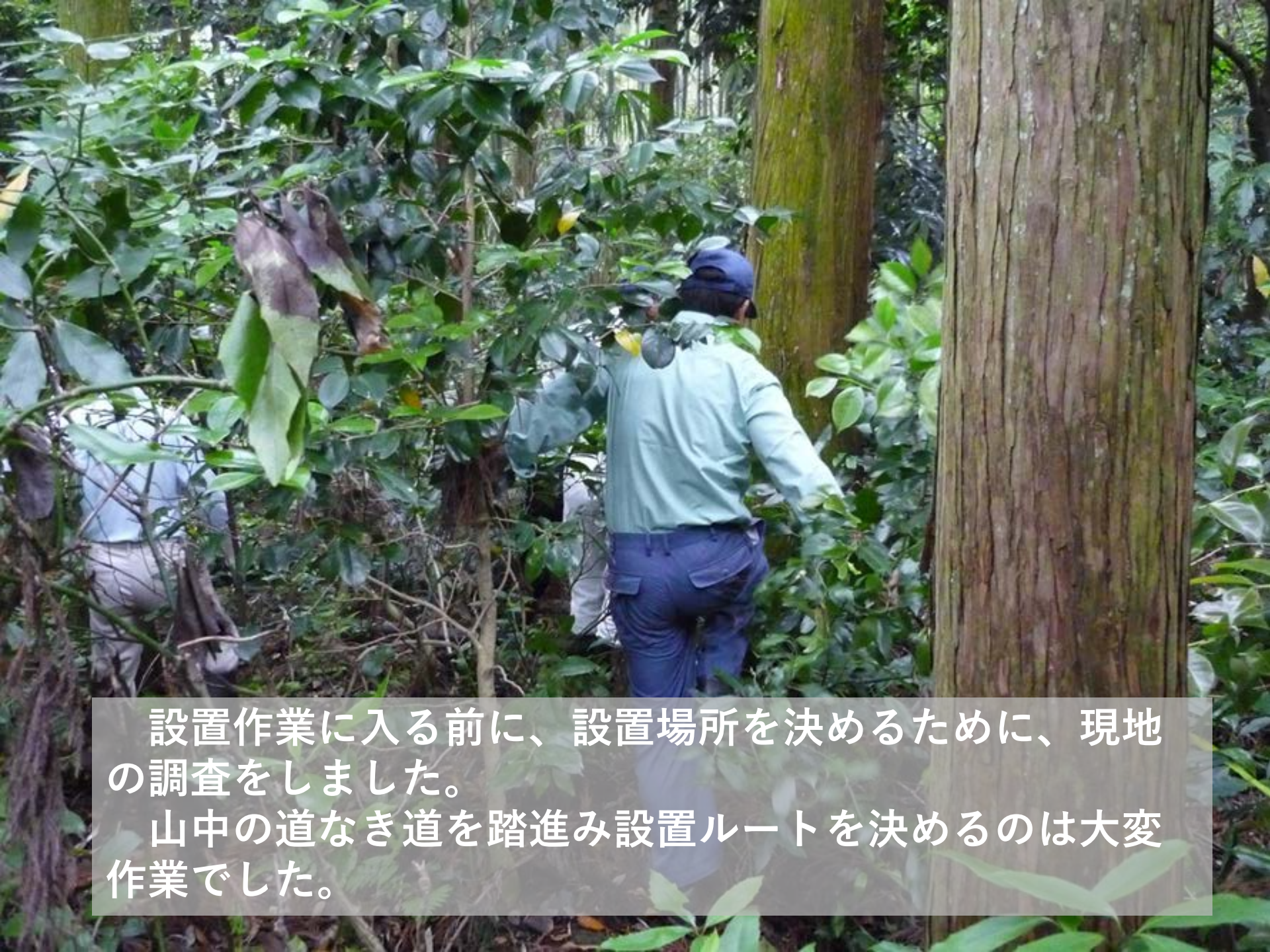
「視察・研修の受け入れ」

市内13集落、岐阜県大垣市上石津町三ツ里、県獣害担当者の研修会、滋賀県立農業高等学校、敦賀市林家組合長連絡協議会、県東近江農業農村振興事務所管内の野生獣被害集落の代表者など。

「出前講座」

市内3集落、長浜市農業委員会、長浜市の研修会、高島市今津町棕川など

で参加者に視聴していただいたものの要約版です。



設置作業に入る前に、設置場所を決めるために、現地の調査をしました。

山中の道なき道を踏進み設置ルートを決めるのは大変作業でした。



設置ルートが決まったら、いよいよ設置場所の雑木林、竹林、雑草などの伐採と刈り払い作業の開始です。



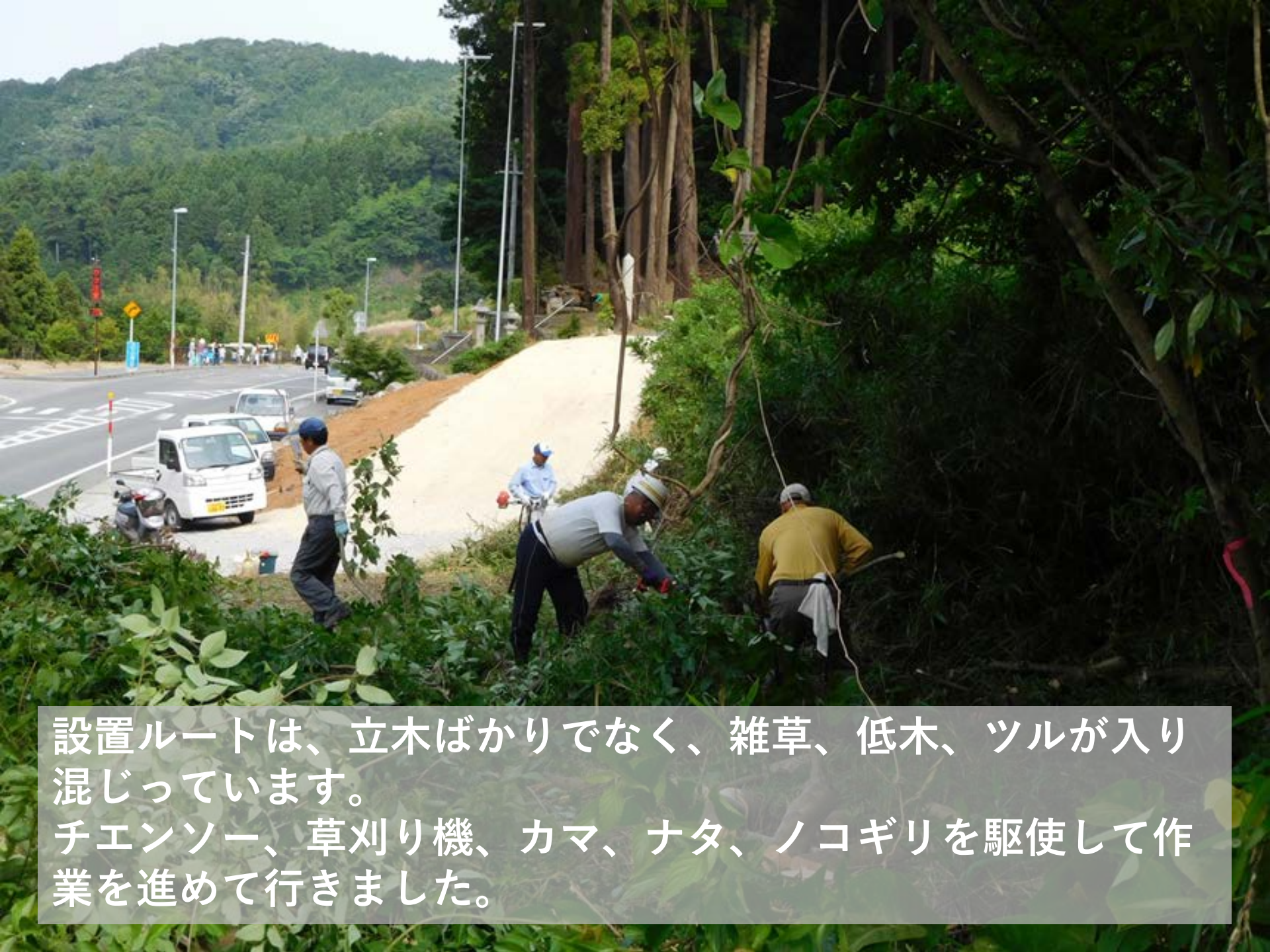
耕作放棄田は、イノシシやシカの隠れ家になり住み家にもなりますので、草刈り機で狩り払いしました。



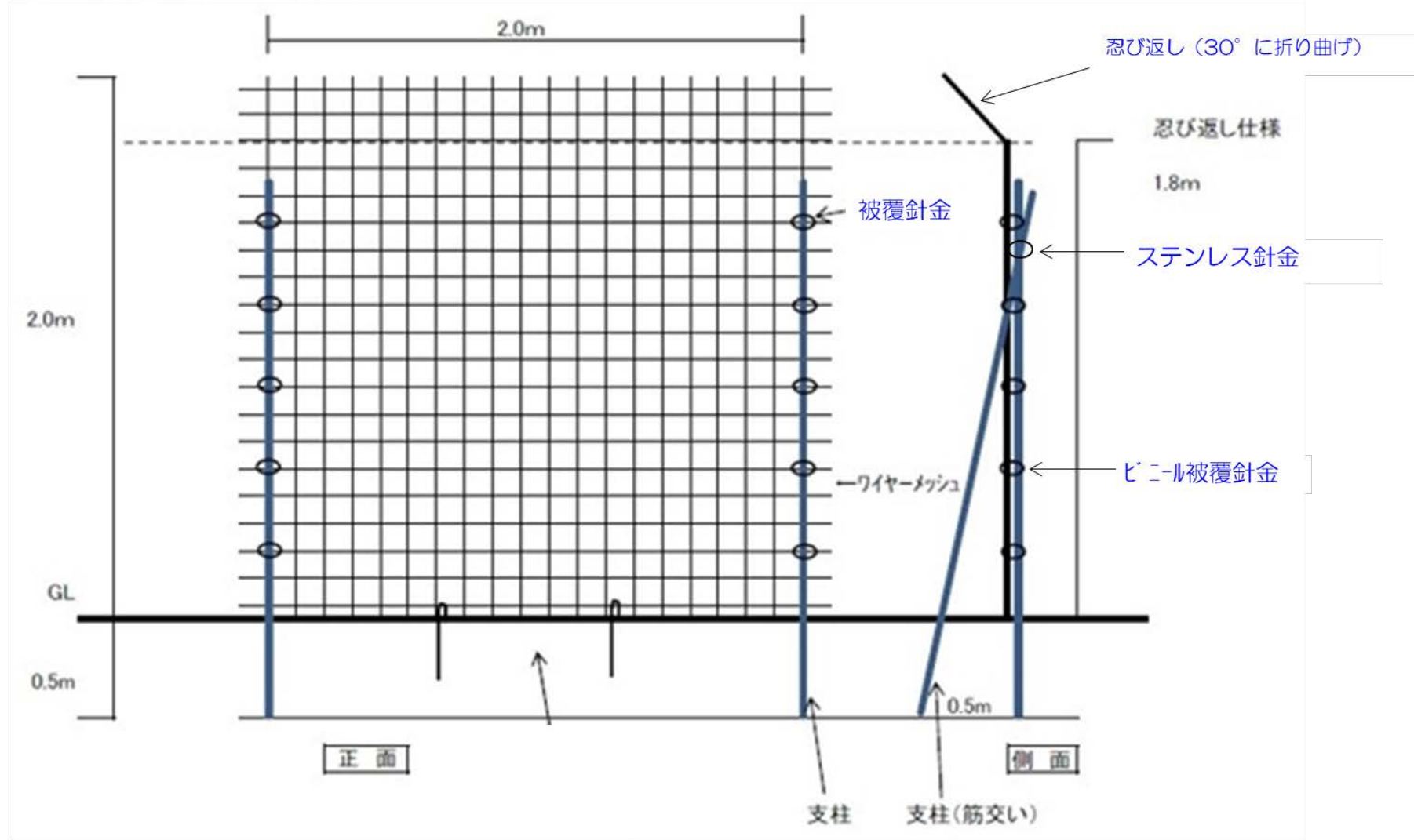
バックホー等の重機が入れる所は業者にお願いしました。



倒れた大木は、小さなチェーンソーで小間切れに切断します。



設置ルートは、立木ばかりでなく、雑草、低木、ツルが入り混じっています。
チェーンソー、草刈り機、カマ、ナタ、ノコギリを駆使して作業を進めて行きました。



設置した獣害防護柵は、長浜市の「獣害対策防護柵整備事業」に基づくワイヤーメッシュ柵。

ワイヤーメッシュ(線径5mm 網目10cm×10cm サイズ幅×長さ2m×2m)、支柱・筋交いは同じ、異形鉄筋(径16mm 長さ2m)、ステンレス針金(#18 1.2mm～1.1mm 1巻1kg≒110m)、ビニール被覆針金(#14 2.0mm～1.9mm 1巻0.8kg≒62m 緑色)、上部は「忍び返し」を施工。



ワイヤーメッシュを「ドボズケ塗装」するプールを作製しました。
滋賀県湖北地方では「ドボズケ」とはぬか漬けのことで、胡瓜などを、どぼっとぬか床に漬ける漬物のことを「どぼ漬け」と呼んでいます。
ドボズケ塗装は、プールなどに塗料を入れ中にどぼっと沈めて塗装することです。

プールは、230cm×230cm×30cmの木枠を作製し、それを床板の上ののせて、塗料が漏れないようにシートを2枚重ねて木枠を包み込みました。

ワイヤーメッシュの折り曲げ ドボズケ塗装作業



設置作業

設置場所のほとんどが山中なので、頼るのは人の手による運搬でした。





支柱と筋交いは、ステンレス針金で結束



設置作業に使用した工具の一部
ハンマー、ワイヤーカット、ハ
シュロック、



ワイヤーメッシュと支柱は、被覆針金で結束





設置後



設置後



河川の壁面を登って侵入したため、河川の上にワイヤーメッシュを敷きました。
これだけで、侵入を防げました。



防護柵の下草刈りです。
柵に絡んだツタや草を除去しないと積雪や強風で倒れてしまいます。



女性の皆さんのパワーが無ければ防護柵は維持出来ません。

2014/11/02

平成28年度から、防護柵周辺の刈り払い後、動力噴霧器と除草剤の液剤タンクを軽トラックに載せて散布し除草しました。
防護柵に絡んだツタや草が枯れるのを待って、ツタ取り作業を行います。
除草剤は、ラウンドアップ マックスロードで、50倍に希釈した液剤を散布しています。



女性パワー全開

ツタ取り作業



ポイ捨て禁止!



ごみを捨てると条例
により処罰されます

市長 田中 隆 市 署



除去後



除去前

破損した防護柵の修復は大変な手間のかかる作業です。





チェーンソーを使用し切断して撤去作業。

現地視察・研修者の受け入れ

「現地視察・研修」

市内13集落、岐阜県大垣市上石津町三ツ里、県獣害担当者の研修会、滋賀県立農業高等学校、敦賀市林家組合長連絡協議会、県東近江農業農村振興事務所管内の野生獣被害集落の代表者など。

「出前講座」

市内3集落、長浜市農業委員会、長浜市の研修会、高島市今津町椋川など。



視察研修の受け入れについては、研修者が到着後、設置場所の現地を視察していただき説明しました。

設置場所の現地視察後、防護柵作業の取り組みを、大型テレビに映した、画像と動画で視聴していただきました。
女性有志より、「ぼた餅のおもてなし」なども行いました。



防護柵「私も守る」！

メンテナンス作業参加の訴えに 90 人余り
(女性 21 人) のみなさんが参加申し込み

「町民の財産、防護柵をみんなで守ろう」との自治会の訴えに、11 月 2 日現在町民の 6 割を超す家庭から、のべ 90 人を超える作業参加の申し込みがありました。そして、「安心して野菜が作れるのは、防護柵のおかげ」 「私もお手伝いする」と女性が 21 人も作業参加を申し込み、2 日夜の自治会役員と防護柵委員の合同会議では、町民のみなさんの熱意に感謝し、つぎの作業計画を立てました。

◎9 日(土)の作業は、西脇、水込、本庄込田です。
作業チームと作業場所はつぎのとおりです。
(◎印は作業責任者) (混合組、チエンオイルを準備します)

総括責任者 大橋 直
○西脇工区(生ヶ谷の農道奥に 8 時集合)
集合場所: 飲料水、草刈り機、チエンソー、カマ、ノ
持ち物: 飲料水、草刈り機、大橋直、浅尾英、北村和彦、北
作業チーム: ○時田 茂、浅尾英、北村和彦、北
清水浩美、
清水浩美、

○水込工区(北村建設資材置場～道敷塚まで)
集合場所: 飲料水、草刈り機、チエンソー、
持ち物: 飲料水、草刈り機、チエンソー、
作業チーム: ○北村与作、大橋直彦、清水

うらへ

ヤッター！ のべ 61 人が力を合せ 防護柵メンテナンス作業 3 日間で 全延長 2,520m 完了！

昨年にも増して生い茂った、竹と雑草、柵に絡んだ蕨、「どうして取り除こうか」と自治会役員と防護柵委員が、頭を悩ました防護柵のメンテナンス作業。

「作業にぜひ参加を」の訴えに、町内の多数の家庭から、のべ 61 人が作業に参加し、大奮闘していただきました。

「柵の葛取りはまかせて」 女性が大奮闘
今年のメンテナンス作業の最大の特徴は、女性が、のべ 25 人参加していただき、防護柵の葛取りを全部やっていただいたことです。
「随に合わんけど」と謙そんしながら作業に参加。おかげで、絡んだ蕨がきれいに取り除かれました。

青年も高齢者もパワー発揮

草刈り機、チエンソーで、竹、雑草、雑草の刈払いにがんばりました。

みなさん、ありがとうございました。お疲れさまでした。

16 日(土)は、西沢・丸奥工区のメンテ作業
柵に覆いかぶさった西沢の葛取りから始まり、丸奥
った葛取りにがんばっていただきました。草刈り機で
河川と農道間は急斜面で足踏の悪い場所や、柵の山
あり難作業でしたが、すべてきれいに刈り取って



メンテ前



メンテ後



折り曲げ作業

さすが 流石、鳥羽上の団結力 緊急訴えにこたえ 18 人が奮闘 ワイヤーメッシュ 475 枚の折り曲げと塗装 鉄筋 700 本と門扉 14 枚の塗装完了

心配された雨も上がった 8 日(日)、緊急訴えに応じた衆入り組も含めた鳥羽上勢の 18 人と本庄町 6 人が合流。
指揮官、浅尾英彦さんと馬場文夫さんの指示に従って、ワイヤーメッシュの折り曲げとドボメク塗装作業に従事。
折曲げは、孝行さん、博さん、精与彦さん、和彦さん、康宏さん、の 5 人。「足が痛い」「もう終わった」を連発しながらも、465 枚の折曲げ完了。
折曲げたワイヤーメッシュの運び役、塗料を運びながらドボメク塗装後の運び役など、流れ作業で正午過ぎには再塗装も含めたワイヤーメッシュ 475 枚と鉄筋 700 本と門扉 14 枚の塗装が完了しました。
防護柵を着た本庄チームも大奮闘していただきました。
暑さの中、大変お疲れさまでした。



ドボメク塗装作業

設置作業は自主参加。少しでも多参加の手を確保するために
『防護柵設置必ず労』を発行し全戸に配布。
年寄りが読みやすいよう B4 サイズの紙に「大きな活字」で
具体的な見出しを付けて目を引くよう工夫しました。
平成23年～平成30年の8年間で100号発行しました。

作業を撮影した動画をウェブサイトの
「YouTube」に投稿しています。

「鳥羽上防護柵」と検索してご覧ください。

今後、獣害防護柵の設置に取り組まれる
一助になれば幸いです。

ご視聴、ありがとう
ございました。